

蛋白分画	333500			
TP ブンカク	担当部署 一般			
検査オーダー				
患者同意に関する要求事項	特記事項なし			
オーダリング手順	1 電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→生化学→			
	2			
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報	特記事項なし			
検査受付時間	8:15~16:00			
検体採取・搬送・保存				
患者の事前準備事項	該当なし			
検体採取の特別なタイミング	特記事項なし			
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1 全血	10青	分離剤	8	mL
2 他材料	10青	分離剤	1	mL
3				
4				
5				
6				
7				
8				
検体搬送条件	室温			
検体受入不可基準	1) 採取容器違いの検体 2) バーコードラベルの貼られていない検体 3) 量不足 4) 粘性のある検体			
保管検体の保存期間	2°Cから8°C冷蔵保存 14日 (追加検査については検査室に要問合せ)			
検査結果・報告				

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部			
測定時間		1~7 日			
生物学的基準範囲		Alb : 54.8%~65.4% α1 : 2.3%~3.8% α2 : 5.0%~8.9% β : 9.0%~14.6% γ : 13.2%~23.9% EX 一般 211 : 「クイックジェル SP 血清蛋白分画測定操作法」			
臨床判断値		該当なし			
基準値					単位
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
パニック値	高値	該当なし			
	低値	該当なし			
生理的変動要因		特記事項なし			
臨床的意義		アルブミン、α1、α2、β、γ分画に分類され、アルブミンとγ分画以外のα1、α2、β分画はそれぞれ多数の蛋白成分から構成されている。これらの蛋白成分の易動度は、膜の種類や泳動条件によってかなりの変動があるが、一定の条件で行えば、泳動パターンと分画比は各種の病態に特徴的な変化を示す場合があり、また特異な泳動像（M タンパク）から重要な情報が得られるために、血清タンパク異常のスクリーニングとして不可欠な検査である。 EX 一般 212「臨床検査法提要改訂第 31 版 : 481.1998」			